

# 第3回 室蘭市観光拠点づくり検討委員会

## 議事概要

日時：平成29年10月31日（火）14:00～

場所：道の駅「みたら室蘭」多目的室

### 1. 開会

事務局：（開会）

### 2. 委員長あいさつ

委員長：（挨拶）

### 3. 議題

#### ① 具体策の検討について

委員長：事務局より説明をお願いしたい。

事務局：（資料1説明）

委員長：夏場の営業時間は、何時までか。

事務局：飲食は5時まで。

委員長：夜景を見ながら飲食できるよう、夜間の営業は可能か。

委員：要望が多ければ対応する。

委員：メインターゲットを札幌圏からの夫婦とカップルとしているが、もっと絞らないと、何を提供したらいいかが出てこない。

例えば、雪国観光圏DMOのターゲットは、「都内在住30代～40代未婚女性で、高収入・高学歴で地方への旅を志向している」というところまで絞った上で施策を打っている。

札幌圏からの夫婦、カップルは、恐らく、登別温泉に泊まって、ちょっと室蘭まで足を延ばす、ちょっと室蘭に立ち寄ってみましたという形。カップルは、ドライブデートだと札幌を10時ぐらいに出発して、昼ぐらいに室蘭に着くが、道の駅で昼御飯は食べない。市内の飲食店に行く。デートでカレーラーメンは食べない。道の駅では軽食程度ではないか。

具体性のあるターゲット像を描いたほうが、何を提供するのが見えてくる気がする。

委員長：値段はそんなに高くない設定だと思う。大衆的なものを出すか、それとも、差別化したものを出すか。

委員：シニア層も含めて観光客から、飲食店のお勧めを聞かれると、室蘭の三大グルメ（焼き鳥、カレーラーメン、クロソイ）を言わざるを得ない。

委員長：シニア層も含めるか。

委員：前回資料の調査結果によると、札幌圏から夫婦、カップルが多く来ており、そこにまずはターゲットを絞っていったほうがよいのではないか。

提供メニューは、前回資料の調査結果によると、必要または充実してほしい設備に、オリジナルの食事メニュー、スイーツメニューとあり、オリジナルとは何を指しているのかまではわからないが、室蘭の特色あるという捉え方ではないか。

委員長：焼き鳥、カレーラーメンも、工場のまちのイメージがする。室蘭の売りだと言われ、1度は食べてみたいだろうが、2回目はどうなのか。室蘭スイーツとは何か。

委員：うずら園のプリン等がある。

委員：室蘭に行かないと食べられないようなメニューのほうが良い。

委員：道の駅のソフトクリームは既に人気がある。

委員：室蘭ならではのカレーラーメン、焼き鳥を道の駅で食べたいだろうか。市内の専門店で食べたいと思う。道の駅では、市内の専門店を案内できるようにしておくべき。道の駅にはカレーラーメンそのものではなくて、関連商品を置いてはどうか。

委員：室蘭焼き鳥まんじゅう、室蘭カレーラーメンまんじゅうなら置いている。

委員：フラノマルシェでは、あえて中にはレストランは置かず、周辺商店街を紹介し、軽食程度は提供するというコンセプトでやっている。室蘭の道の駅でも、軽食は提供するが、室蘭ならではのグルメは専門飲食店を紹介するような姿勢の方が良いのではないかな。

委員：やはりファストフードの提供ではないか。

委員長：夜間営業するにしても、ファストフードでないとできないと思う。テイクアウトできるものはどうか。

委員：設備もそんなにかからず、買う方も買いやすい。

委員長：指定管理者が飲食店を運営するのか、それとも業者を入れるのか。

委員：観光協会自体ではできない。調理免許も必要だし、そういう人を入れないとならない。

委員長：ファストフードだと、おおよその価格帯も決まってくる。営業時間は、夏場は遅くまで、例えば金曜日、土曜日だけでも遅くまで営業できないか。市とも検討しながらにはなるが。

委員：札幌圏からの客は早い時間に来ない。オープンを遅くスタートして、クローズ時間を延ばすのはどうか。

委員長：ファストフードで、オリジナルメニューも用意してくれる業者と交渉していくということでしょうか。

高木 屋台村はあまり機能していない理由は何か。

事務局：ゴールデンウィークのようにスポットでは多くの観光客が来るが、平日は売上げが落ちてしまうため、コンスタントに、常時営業できないようだ。

委員：屋台村ではあまり食べたいという感じにならない。営業しているかどうかもうわかりにくい。

委員：このあたりの入り込み客数自体は増えている。見た目的にも何か食欲をそそるような外観なり、何か理由があるのであれば、根本的に考えないとだめだと思う。

委員長：屋台村で調理したものを道の駅で売ったらどうか。

委員：30～40代の観光客から、スイーツやパスタの美味しい店を紹介してほしいとよく聞かれる。

委員：室蘭に来る理由は、登別温泉や洞爺湖温泉に泊まって、ちょっと周りを見るために来るか、行く前にちょっと立ち寄るかだと思う。温泉に泊まると、朝はバイキングでしっかり食べてくるので、昼は軽食でいい。温泉に行く前に来るのであれば、夜しっかり食べる予定なので、軽食ですませたい。ファストフード程度でいい。

委員長：景色の良いここへ来て、何か買って帰るとしたら、水族館関連、海のイメージのものか。登別温泉や洞爺湖温泉にはない、室蘭ならではのものを買ってもらう仕組みが必要。

この場所を有効活用するためには、ファストフードだけではスペースが余るので、コーヒーショップ等も入れてはどうか。

委員：寒地土木研究所の調査レポートをみると、滞在時間が30分を超えるか超えないかで、消費単価が違ってくるようだ。30分を超えないと、大体平均が300円位だが、30分を超えると974円、約3倍に増える。

休憩したいために道の駅にやってくる。なるべく休憩時間が長くなって、滞在時間が長くなれば消費額が上がる。休憩空間として居心地がいい、気持ちいい空間かどうか、かかっているのではないかな。

ここの道の駅からの景色はよくロケーションは良い。ただ、建物の中の雰囲気は若干殺風景な雰囲気で、机、椅子も会議室のもののような印象を受ける。

委員長：物販についてはどうか。

委員：好調である。種類を増やすと、それだけ売れていく。

委員：道の駅は、そのまちの縮図みたいなどころである。特産情報を知れるところである。

室蘭ならではの、室蘭焼き鳥を手軽に二、三本食べられるよう、ファストフード的に提供するだとか、室蘭の海産品等もあるとよい。業者を入れて、商品管理をしてもらうようなシステムができれば理想。

飲食は、メニューとしても何か話題になるようなものが欲しい。大きなパフェだとか、インスタに映えするような入れ物を開発する等が必要。それをさらにSNSで拡散していく。

委員：道の駅はまちの情報をいろいろ提供できるような場所であるべき。道の駅は、駐車場が大きい、建物の前に配置されていない。人気のある道の駅は、その前に大きな駐車場がある、入りやすさも考慮しなければならない点かと思う。

委員：現在道の駅での物販は、観光協会が仕入れて販売しているのか。

委員：委託販売である。

委員：道の駅で、チャレンジショップはできないか。例えば、棚の一部を貸し、好きに売ってもよいが売り上げの何%を入れる等。室蘭でパンやケーキ等をつくっている人に声がけできないか。

委員長：買い取りで売ると委託で売ると二通りあるが、買い取りで売るのはリスクが高い。

委員：朝市のようなイベントを道の駅でもやっているようだが、年に何回でも一般市民が集まるようなイベントも必要。市民が集まるようなイベントは近隣市町村にも広がりを見せ、集客にもつながる。

委員：朝市は非常に人気がある。報道も協力してくれる。市の観光課で一生懸命やってもらっているの、そういうバックアップがあれば人は集まる。

委員：案外、イベント時は単純なものが売れる。例えばじゃがバター、ゆでとうきびがよく売れる。

委員長：マルシェといった販売もあるといい。ところで、屋台村については、営業しているかどうか分かるようにしたほうがよいとの話もあったがどうか。

事務局：今、3棟あるが、1棟に店舗が入っていたり、いなくなったりしている状態である。例えば、集約して店舗を入居というようにはできないかという相談等をしている。現在、年間で貸し出しをしているが、月単位で契約できないか等、やりとりはしているところである。具体的な案があれば、こちらからどんどん投げかけながら、キャッチボールしながらやりたいと思っている。屋台村は、窓口で売っていたり、中を通れたり入れたりとかという状況にあるので統一感がほしい。もし窓口で売るのであれば、全部窓口でつくる等、提案はしている。

委員：屋台村は、劣化を感じる施設で、入り口部分からマイナス評価につながるのではないかな。

委員：ここの道の駅は、全道で4番目の景観の良いとこだといわれている。

委員：昔、大黒島を模したカレーライスだとか、何かなかったか。

委員：メニュー開発は、いろいろ考えれば出てくると思うが。

委員：それはプロに考えてもらうべき。素人では思いつきでしかないから無理だと思う。

委員：屋台村の方では、集約化を望んでいるだとか、現状で何かやっていくといった話はあるか。

事務局：具体的な話はない。

委員：屋台村でも一定程度のクオリティーは欲しい。

委員：観光客を案内するにしても、胸を張ってすすめられるようなある程度の店であってほしい。

委員長：屋台村をうまく活用できるならそれがいいが、選択肢を広げて検討をしていく必要がある。

動線に関してはよろしいか。水族館との動線をまず確保していく。水族館とつながって見えていないことについては検討していただいたほうがいいかと思う。温泉施設との動線も考える。道の駅と屋台村だけで考えてしまうとバランスを崩してしまう。

## ② 道の駅配置パターン（案）について

事務局：（資料2説明）

委員長：まず、1階フロアについて、2つ案が提示されているがどうか。物販スペースと飲食スペースを増やすパターンがある。夏はいいが、冬は大変かもしれない。季節需要の差が大きいのでどうか。

委員：配置関係は、コーディネーターにお願いするのはどうか。

事務局：そういうものもある。動線、どう配置したらいいかについては、そういったところも必要かと思う。

委員：やはり専門家でないか。この委員会の意見は意見とするが、色々手がけているプロに、何例か出してもらって、検討してはどうか。

委員：スーパーマーケットに入ると、必ずフルーツ、野菜からの順番で配置され、デパートの1階の化粧品売り場の配置にもマーケティングのプロが検討した上でそうなっている。道の駅でも効果的な配置の仕方というものがあるのではないか。

委員：その辺はやはりプロの方に頼むのがいいと思う。

委員長：コーディネート料は発生するかもしれないが、大きい投資する前に、一度聞いてみるというのはいい。

委員：陳列のパターン等はコーディネーターに任せることが必要かもしれない。現在、休憩スペースが少ない。B案のほうが、物販と休憩スペースを分けてやるほうがいいのではないか。

委員長：2階についても、キッズスペースも含めた場所の確保も含めて検討していく。現在、展示物がたくさんあるが、ある程度整理してもいいころかどうか。

委員：白鳥大橋記念館なので、関連する展示は必要。

委員：道の駅には、いい景色を見ながら休憩したいと思って来る。2階を休憩スペースにするというのも一つかとは思う。

委員：2階は、夕日が見えない。1階の方が、大黒島も見えて、ロケーション的にはいい。

委員：2階まで上がるというのに抵抗がある人もいる。

委員：1階は海が見えるのがいい。

委員長：2階の展示物で是非必要なものは何か。

委員：一部は残さなければいけないと思うが、整理していいものもある。

委員長：大きなジオラマは整理していいか。

委員：港湾事務所のものはどうか。

委員長：屋台村の中におけないか。

委員：屋台村に入れて、屋台村で紹介すればいい。

委員長：2階は、キッズスペースを確保し、子供がゆっくりできる場所としても使うということによろしいか。

委員：2階に、多目的スペースとあるが何に使うか。

委員：会議、写真展、撮りフェスイベント等にも使う。イベントをやることで集客にもつながってくる。

委員：物販スペースを広げる場合、何を売るか。魚等か。

事務局：今の市場で、ふれ合い機能を持たせるということを検討している。フルスペックで直売を道の駅でやるというのは難しい。イベントとして、道の駅の入口周辺で、スポット的にするのが今の段階としてはいいかと思う。冬場は、中でスポット的にやることも考えられる。スペースを用意しておくと、いろいろな催事ができる。物置スペースも検討しているが、これは物販のストックを置く場所として確保はしておきたい。野菜等の直売については、皆さんどう考えるか。

委員：消費者目線では、あったほうがいいと思うが、事業者目線ではどうみるか。

委員：中途半端ならやらないほうがいい。伊達の道の駅、壮瞥の道の駅には、近隣に農家があるからやれる。

委員：中途半端においても、客は満足しない。

委員：例えば、ゆでとうきび等、旬のものを工夫して出せるなら。

委員：中でやらないで、入り口でシーズンも考えてやる。そのほうが効果的なのかと。

事務局：例えば、チャレンジショップというか、3日間、1週間だけでもスペースの一部を使って何かやるということはどうか。

委員：そういうほうがやりやすい。

委員：朝市が休みのときに、例えば月に2回、必ず第2、第4土日にやる等すると、それを目掛けて市民が結構来ると思う。

委員：生鮮、鮮魚は水の問題、衛生管理が大変なので取り扱いが難しい。

委員長：入口ホールについてはどうするか。現在雑然といろいろなものが置いてあるが整理して、観光情報だけを掲示していくようにするのはどうか。入口には、広目のスペースをつくりたい。

事務局：先ほど話がでたプロの意見も伺いながらやるのがいいと思う。  
掲示物を張る場所を特定したりすることも必要かと思う。

委員長：掲示物は用途を整理し、たくさんの人が来ることを想定して広々と使う。それもプロに相談していく。

委員：道の駅で室蘭の観光情報を聞きたいときはどうするか。事務室の人に聞いているか。コンシェルジュ等はどうか。

委員：観光客は買い物したついでに店員に聞いたりしている。

委員：事務所には余り行っていないようだ。

委員：ボランティアが観光案内するもいい。

委員：観光協会の一部がこちらに移ったほうがいいのではないか。東室蘭駅でも対応したりしている。土日祝祭日だけでもこちらでやるか。

委員長：観光協会でその意思があるようであれば、そういう方向で検討していただく。例えば、受付等をつくるとしたら、どこにつくるか。物販の中のほうか。

委員：いてもらうほうがいい。

委員：観光窓口があれば、周辺にある水族館、温泉、マリーナ等と連動し情報を提供し、観光窓口で水族館の入場券を売っていれば、行ってみようかという話にもなると思う。

委員：水族館への横断歩道は、もうちょっとずれると、車も来なくて渡りやすいかもしれない。

委員長：道の駅への入り口と水族館の入り口が両方重なっているのはちょっと危ない。もうちょっと手前にするとかはどうか。その他よろしいか

委員：団体客が休憩するスペースはとれるか。

委員：これだけ広くなれば可能。

委員：団体に食事をしてくれると、御飯だけではなくて、買物もしてくれるのでスペースはあるとよい。

委員長：核となる道の駅の魅力アップ、屋台村や温泉などの相乗効果を図ることができる仕組みづくり、周辺施設との動線を意識することなどが今すぐできることだと考えられる。短期的、中長期的にすることを分けてやっていく必要があると思う。本日いただいた意見をふまえ、今回は、イメージ図とし等も含めて提案していただく。

#### 4. その他

事務局：次回委員会は11月下旬を予定している。イメージで視覚的に見やすいものをお示しする。また、提言書素案への意見等を頂戴したい。

#### 5. 閉会

事務局：（閉会）

以上